

《東 日》
國花萬葉記

一 諸河城主 附 河原城 河原國
 河原城 河原國
 西園社社佛閣社社社日 寺社冥室
 山岳名所 古寺名威以社孫分之二
 五 赤上郡 北一 赤下郡 北四 平群郡
 共 廣野郡 北九 葛上郡 北四 丹波郡
 共 宇智郡 三十四 音野郡 四一 葛上郡
 共 城上郡 四六 山邊郡 四十九 富市郡
 共 宇多郡 六十三 城下郡 六十四 十市郡
 共 未考之名所 七十國中道分國産名所

大和
 郡名 田穀 知行高

ル 3
 3671
 5



門 3
 號 3671
 卷 5



本日 園花萬葉記 卷之三

又畿内 又々園内

大和國 和名 上叡十又郡 南小百余里

山陵多々種十倍之生於此り名不

同姓多々一々大上々園之 平郡 廣津

十市府 添上 添下 宇智 吉野

葛上 葛下 丹海 宇智 吉野

宇智 城上 城下 高市 山田

田敷七々又十五丁

知り言 比格正万正百二十正石

大和國とて自天に於て名とするのけ園
 天皇帝孫始之故と名とする人
 産も同より起て世と周と号す祖
 孫より起々世と係と稱するがごとく

郡山 洲城 百十六り

大和國 郡山 洲城



松平甲斐守保泰

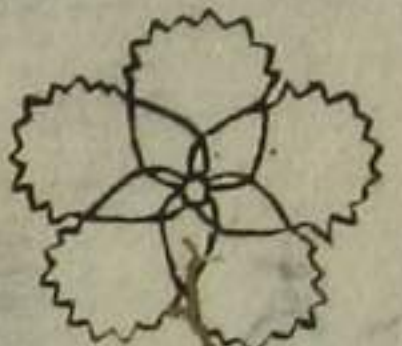
御内室

格又万石二百廿八石

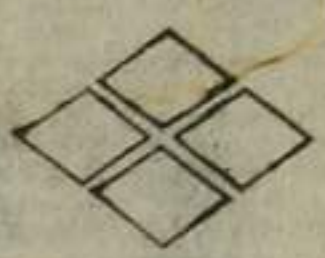
平岡宇右衛門
石沢條太夫
赤坂孫吉

御やう丸

- 上草履の肉・下草履
- 下草履あり・下袴也・下言まり
- 糸海外より村・大津茶や所



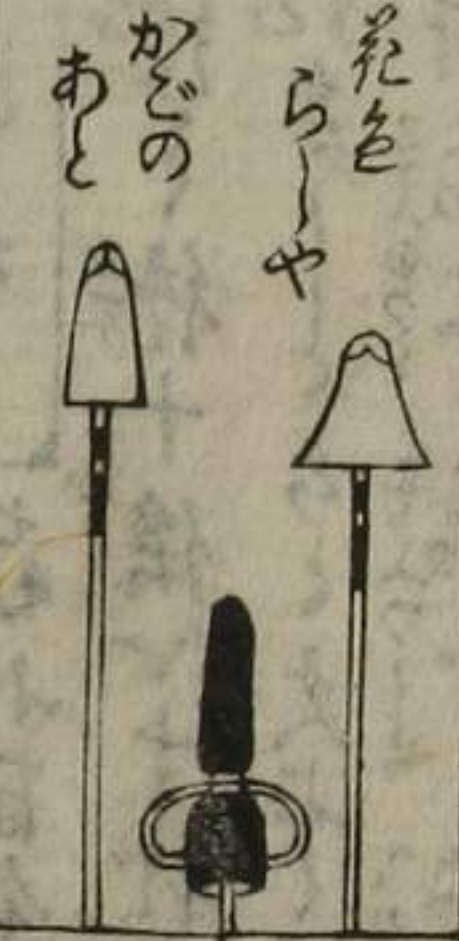
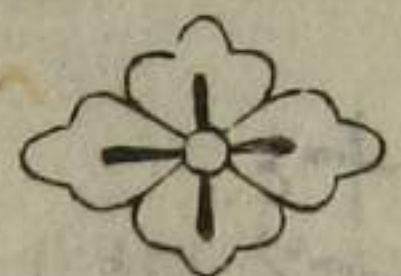
押うのち
ひびき
かごくろ
かごくろ



御婿 松平造酒保貞

御内室 松平豊後守叔母

附
川口多照



押日乃
かごの
ゆん白

清和源氏 松平氏御家系

新羅二良義光又世武田大膳大夫伝光男
武田甲斐守信長十三代

源信俊

御内室 高藤古

保泰

甲斐守

将八郎

女子 真田貞四良室

久島丸

保貞 造酒正

延享三ヨリ松平氏以之

高取御城主

御内室 百世四リ

植村保勝吉家

御内室 大久保信俊

中若新吉
多尾尾儀八
川本形又方



御やう丸

- 上草切通
- 中草切通
- 下三田古河丁

大押こん
政也引



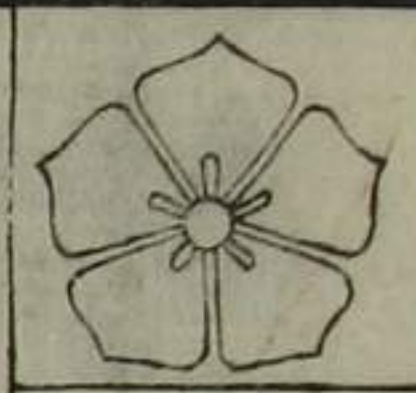
附
月乃

御婿 植村駿河吉家

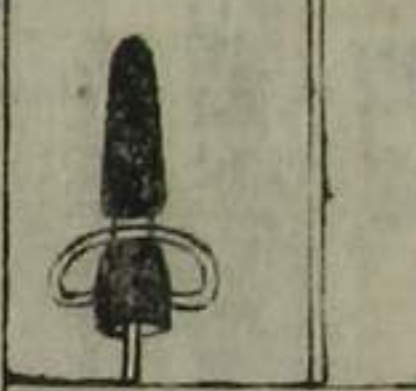
御内室 南越左馬尉娘

附
瀬尾百馬





花
色
ら
や
か
む
ら
さ
ら



押
金
右
日
改
ゆ
ん
き

樺村氏所家系

源氏明 ウツノキ

於皆掛討死

新六郎
出羽守

豊か高直領主と教代也
さうくハ武家とさうべ

家教

伊勢守

家貴 駿河守

女子
二人

寛政十八ヨリ樺村氏領之

小泉所領主

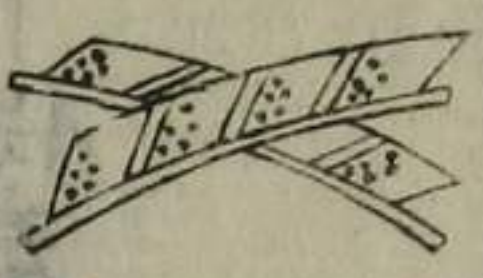
江戸か 百世三リ

元桐石見守貞信

幸方あり余

内室龜井大隅守長方妹

上りご下ト 中不取し白のた
下あさべどりか坂



り
か
の
た

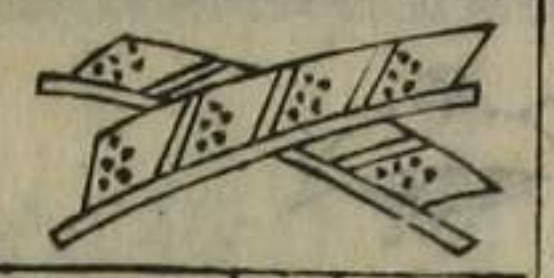
柄
全
り
の
紙



押
金
こ
ん
袖
下
白

婿

内室



元桐氏所家系

源貞隆

行相主指心

豊か高直領主と教代也
妻くハ武家とさうべ

貞信

女子四人

本下丹下室
石川源兵衛室
大久保善之助室
後本大三郎室

元和年中か元桐氏領之

新在御領主

江戸か 百三十四リ七丁

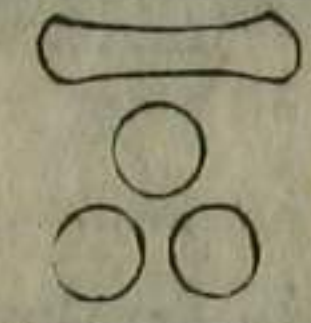
永井信濃守直養

一石

内室松平伊豆守信明娘

永井権右衛門
佐川田兵六

直や 上りト町一丁目下四番信濃所
系は伊豆大文



上赤
中派
押
附
引

御
嫡
御内室
附
押

右永井氏之旧家系松州守擬之御以主一系

奔生御以主 江戸分百十二リ

柳生但馬守俊章 江戸分百十二リ

御内室 田原玄菟殿正姫
御や・上本換所又丁目
しき・下正若志と丁・下大さき

御
嫡
御内室
附
押

御
嫡
御内室
附
押

定永年中ヨリ柳生氏代々御之

柳生氏御家系

菅原宗矩 江戸分百十九里世三下
御四品
此の両原御家と枝代を委し武進と云ふ

俊章 江戸分百十九里世三下

芝村御以主 江戸分百十九里世三下

織田丹後守長恭 江戸分百十九里世三下
山下固助

御内室 松平伯耆守善良方姉
御や・上麻布白金甚
下 吉平

御
嫡
御内室
附
押

御
嫡
御内室
附
押

織田氏之旧家系八洲村山内氏一系

情の娘命り 伴勢の娘命り
右小宮の娘命り 伴勢の娘命り
明日天恩徳耳命り 伴勢の娘命り
女持懐の娘命り 伴勢の娘命り
獲持の娘命り 伴勢の娘命り
大和郡正化小宮の娘命り 伴勢の娘命り
船の娘命り 伴勢の娘命り
なり絶宣の娘命り 伴勢の娘命り
とこれの娘命り

栢社

栢本宮 栢田夫社之春日社也
忠隆全劉童子 伴勢の娘命り
栢本宮 伴勢の娘命り
栢本宮 伴勢の娘命り
栢本宮 伴勢の娘命り
栢本宮 伴勢の娘命り
栢本宮 伴勢の娘命り
栢本宮 伴勢の娘命り
栢本宮 伴勢の娘命り
栢本宮 伴勢の娘命り
栢本宮 伴勢の娘命り

海舟の社

大物主命 大社ノ有

八高神社

大社ノ有

心力雄社

大社ノ有

飛来天社

大社ノ有

農本神社

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

栢本宮

大社ノ有

命乃由子天押雲命と云つて大和社ハ

社家也一乃秘説也、地不志、中不

地、と云ふ秘説也、此秘説命乃由子

由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

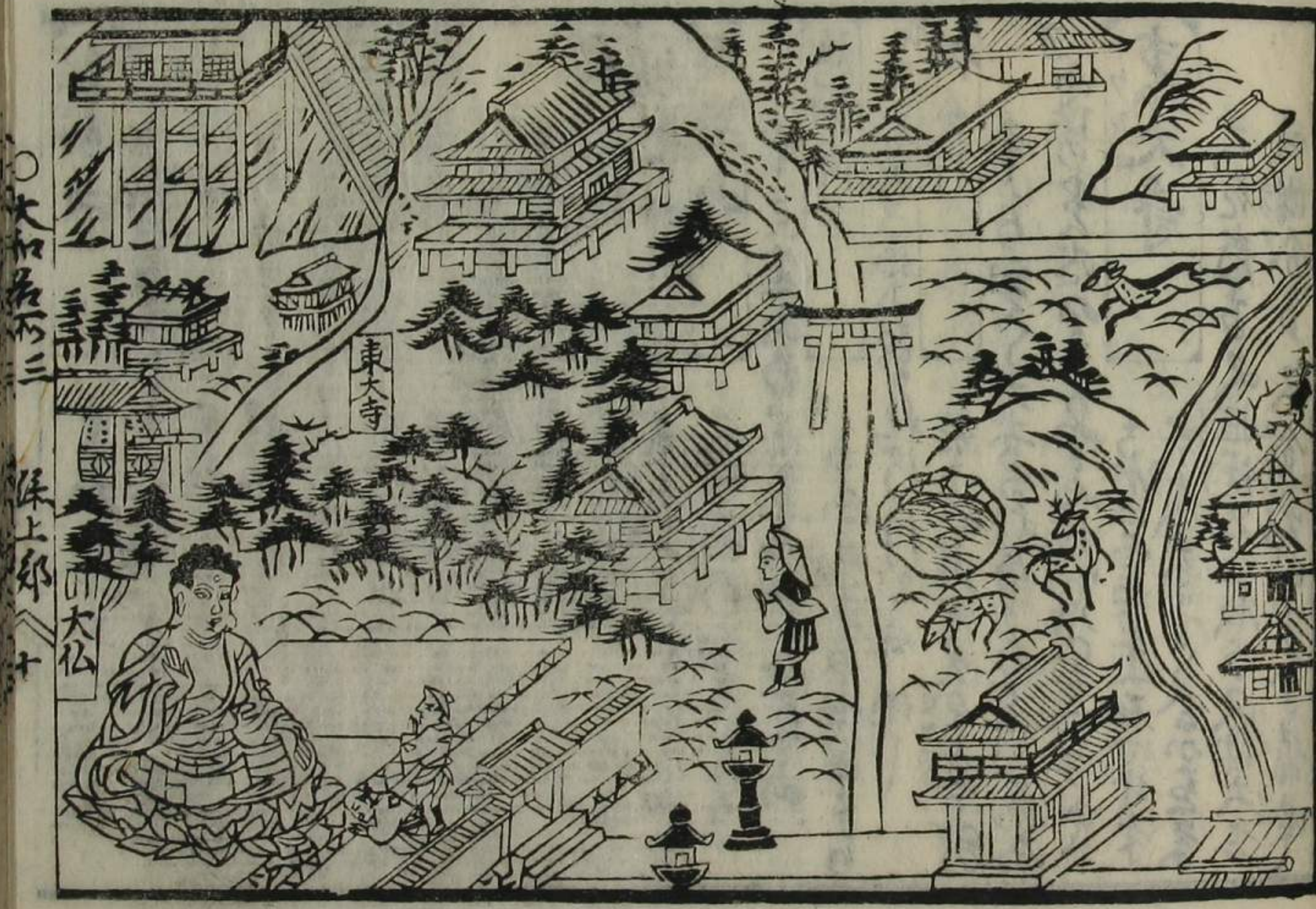
乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説

乃由子天押雲命と云ふ秘説也、此秘説



大和郡下三
保上郊
大仏

東大寺



春日之御社

大和郡下三
保上郊
大仏

高野山

高野山と云 同天竺

方加

方加と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

高野山

高野山と云 高野山

大井...

公乃... 後... 下... 真...

右... 乃... 其... 天...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

三月... 乃... 再... 永...

▲西金堂 釈迦法王 南無堂 不食霜索 四天王

南無堂ハ辰海公より又辰内磨乃子冬
馴大臣辰氏乃親カ人等と教之弘法大

師亦中合く子孫盤雲其代行如心
堂と興儀之れまて教之と教之り

又云其有む南無堂之て今云人九人の辰辰
は并ハ成堂と云ふもて辰乃親乃乃

徳也又神化り地底の望め世とつと
多阿ま目大の神乃内辰年以神

を神と神と建ふま下りて傍る也
他磨乃親乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

乃内小堂乃親之是より小堂まよ
又云其有む法云と云る

▲小春堂 梅多屋公 博堂 弘徳云々
信堂亦く懐个云と云る

▲五重堂 天年云 月日云 信の色云
窟并又天 弘仁年中天降勅修

呼天云 志云 神あり乃乃神日
三重信 教義は秘密の長石

一云堂社 信聖天宮と云
興福寺く古中

▲中虎堂 和歌今別 一云虎院 古勢藤

▲松室 仲海海海の 苑林院 信長信正の

▲勅修坊 源光親の 堂花院 又大信堂と云

▲大系院 親治元年二月小と云

▲法相宗傳本ハ堂助修止揚好せり自そ
興儀之れ信今より也正統化亦と云

▲其上の寺或ハ一室二門又ハ信之伽藍の
焼失すりす下め人五十七代揚成天皇

元皇三年の夏より九十八代後醍醐天皇
嘉暦二年乃す亦勢も或ハ其大威威

次又ハ月短乃難小か門く廻縁まらり
ハケなどいり永徳年中松永弾弓

云又云はくをめぐり一と云

▲八重揚 赤糸堂乃信乃也り
小八重さうりり身たりて云

河 真代ハ其殿乃八重揚云云を不白ひめか
信沢池 興福寺乃ものをりき
泉女云 右池の西ふ云云云

くけの柳め云云昔め云云の事亦は今
宗女直門と眼と云云云云云云云云云
けむりあり一と云云云云云云云云
人く亦亦よませと云云云云云云云
大和物語云云云云云云云云云

又此より後、^八はなを橋の浪の平りたるを此と
揚子地橋

興福寺の天台宗法印と云くありて、
橋のれへやうと云ひて、^八はなを橋と云や

東大興福寺の舟けり
押出乃門の南多三を同の舟の舟
兼 舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟

舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟
舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟

舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟
舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟

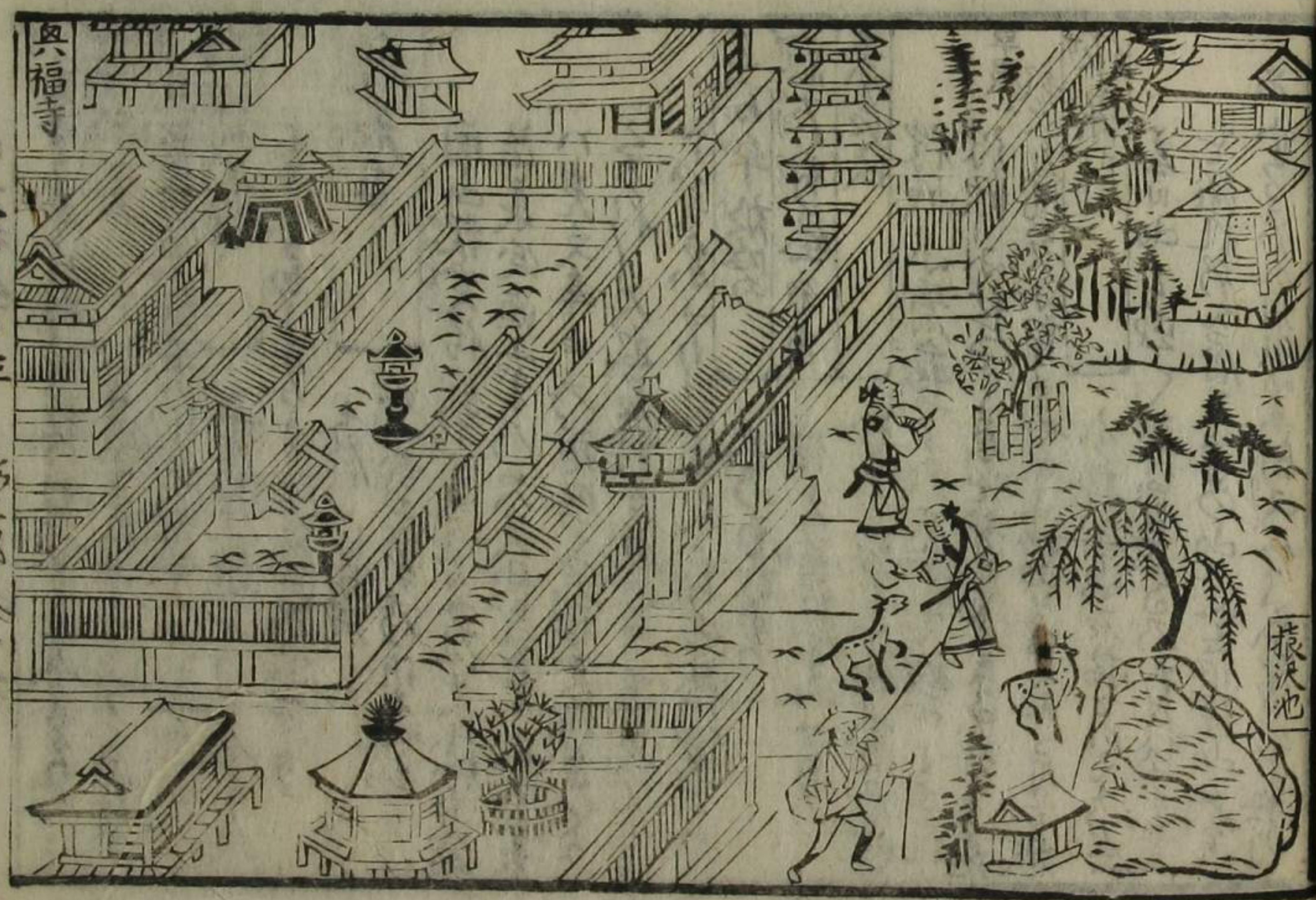
舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟
舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟

舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟
舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟

舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟
舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟

舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟
舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟

舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟
舟の舟の舟と舟の舟の舟と舟の舟の舟



興福寺

振込池

そしひるる法師本の川ちへり流あはる人
友吉のあぐり終ふりはれは法皇と法
師ハあま山乃西藤小堀ふつさけか
ありく火のあぐりくさふありまれば信
又逢火の源とよまらや

中川寺成身院

古の東あり
長年凍後大史の文の四子

慈厚山成身寺

古の二百廿五石
古の二のうと二のう

同基唐僧虎渡和尚とま

大和國とつと山城國

依保山

依保川

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

依保山

法心滅罪之寺

古の二百廿石
定数居て必合ちる

光の皇后乃由建立して信れ出入
と標記す所なる十一西観音の屋絶
高代建宗建長元年分西大寺此寺り

法心寺乃乃門内あり

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

不退轉法輪寺

古の五拾石
眉のるるり六丁作西

當り東暦さうり六丁作西
乃建立あり自ら就自其菩薩
と信りてさうり六丁作西
法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

依保山

依保山乃乾なり信ふ定て七
建長と云ふる五五石小信り付るる
古七の五五石と教りたり高
代ありて一川に流るるるる表り
流り杖とつと踏るるるるる
法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

法心寺乃乃色花田乃中に

辰市社

町尾秀行乃具大女あり
一村乃辰小ふらの日常の事

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

添下郡神社御所

添下郡乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

辰市乃辰線のそれゆふとふらの辰市

志之ありて念佛三昧乃淨土に於
せりは法師乃さんざりと云は日中
三乃神んごうと角養の記云は
長御御記云

菅原

菅原の記云は
ち然と云はす三代天皇
御勝寺乃南と云は

菅原天祥

此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云
生云云

菅原寺

菅原寺乃南と云は
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

菅原伏見陵

四代ふまの
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

四ノ間守墓

四ノ間守墓
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

伏見乃基

伏見乃基
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

興福院

興福院
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

靈山寺

靈山寺
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

唐招提寺

唐招提寺
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

傳堂

傳堂
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

傳堂

傳堂
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

傳堂

傳堂
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

美作寺

美作寺
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

西院

西院
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

東院

東院
此社天祥也聖廟也
与似亦石乃基云云

○大正六年三月 味下抄 七三

徳也八幡宮

依是形乃石

勝る心承傳也

神宮宮 形蔵川

植樹乃場

美法山後二墓

大塚 形山と

赤楊基

松尾古 小泉村

矢田古 ちちのけし

天武天皇乃勅於用山智通傳心云

中是地蔵や川に人乃神也なり

滋采上人の中興と云ふり小登智伝と

川上後 ちのけし

赤乃古 矢田のけし

西大古

岡山常勝と云ふ三編云々

天竺と云ふ河原 執事出雲延慶二年

西條の土 藤原道隆 眞山堂住持

西條心丹 係小西大と云ふち北極方

西大と云ふ柳乃依りちり赤瀧流の急

と云はへりては柳と云ふ

西條心丹乃白糸と云ふ也ぬけり去の柳 通明

西條心丹 四法と云ふ高野天皇の御

秋條寺

岡山長徳傳云 本寺某師如來之香木

秋條 秋條寺 秋條寺 秋條寺

外山里 秋條の外山里や時々ん生駒乃堂の堂のうら 西乃

高山八幡 聖武三皇子作らりて遊をみ時たつて

秋條墓 延慶二年三月廿二日安徳公命と云ふ今思ふと

別當采原知徳

金堂乃面原村也

又見の以勝る田湯と云ふ

平城宮乃面ふも

直大尊云か

直惟云云

か山世と云ふ

太子の白書云と云ふと

結座と云ふ

今人親王建三が西

又金別と云ふ

天武天皇乃勅於用山智通傳心云

中是地蔵や川に人乃神也なり

滋采上人の中興と云ふり小登智伝と

川上後 ちのけし

赤乃古 矢田のけし

西大古

岡山常勝と云ふ三編云々

天竺と云ふ河原 執事出雲延慶二年

西條の土 藤原道隆 眞山堂住持

西條心丹 係小西大と云ふち北極方

西大と云ふ柳乃依りちり赤瀧流の急

と云はへりては柳と云ふ

西條心丹乃白糸と云ふ也ぬけり去の柳 通明

西條心丹 四法と云ふ高野天皇の御

秋條寺

岡山長徳傳云 本寺某師如來之香木

秋條 秋條寺 秋條寺 秋條寺

外山里 秋條の外山里や時々ん生駒乃堂の堂のうら 西乃

高山八幡 聖武三皇子作らりて遊をみ時たつて

▲平群地名所古社四條

美法山 日本記

秋條古 小泉古

聖武三皇子法云 傳説乃ち

又他後と云ふ

又他後と云ふ

美法山 日本記

秋條古 小泉古

聖武三皇子法云 傳説乃ち

又他後と云ふ

又他後と云ふ

又他後と云ふ

尾塚 法起寺西山 志子教乃尾と納まり

栗毛子塚 志子の母 栗毛子の塚

法隆寺 法起寺西山 又と井ち又井井も云

推古年中乃京制 志子の母 志子の母

又下林新 志子の母 志子の母

今ハ只塚 志子の母 志子の母

富小川 志子の母 志子の母

五代と徳ら森井の志子の母 志子の母

中宮寺 志子の母 志子の母

今ハ法隆寺乃 志子の母 志子の母

又ハ法隆寺乃 志子の母 志子の母

乃法隆寺乃 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

法隆寺乃 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

志子の母 志子の母 志子の母

新南川

万系

越前新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

新南川新入る今や嘆ん山吹の系

鬼取山

くまがら越々十町程北より
生約山乃藤之木乃文殊

竹林寺

約基乃高の園基かり別法骨下
はち北西乃山乃寺版小版若原屋

多安城

あまの日本紀ふるまふむじ
大和河内あまふかりり方地

廣瀬郡社

廣瀬郡社乃相名所

百海宮

皇居ゆきり

百海川

百海七村のくま川二町程
西これ皇居乃流川上ハ越々

百海寺

百海川乃東市敷西
ハ廣瀬郡くま川にして

池

池乃三池 池弘法大師乃也
乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃乃

寺

又那菴古た云長若門乃
南宮膳村小あり聖徳太子乃

河合村

河合村乃川乃

沢田川

沢田川乃川乃

廣瀬社

廣瀬社乃社

祭社

祭社一庭 和契字加賣令

天武天皇

天武天皇元年小大山中乃

大和

大和乃大和

廣瀬

廣瀬乃廣瀬

廣瀬

廣瀬乃廣瀬

廣瀬

廣瀬乃廣瀬

廣瀬

廣瀬乃廣瀬

廣瀬

廣瀬乃廣瀬

廣瀬

廣瀬乃廣瀬

廣瀬

廣瀬乃廣瀬

又佛舎ミチノカミ若宇カミ加素命ミチノカミと号ス乃徳神也
法位系統田と曰下故不廣瀬勢田と稱ス

廣瀬野

今大聖村と云 依武天皇御宇の爲

大福寺波傳山

古殿世石 志云宗 著尾村

牧野墓

聖徳太子乃直建立中宮の基所也 依自他

成相墓

武皇太后乃流和氏 依赤武

三立忌墓

押坂夫人父兄皇子 依武天皇是之
高市白子 天武天皇乃白子

葛下郡神社傳摺名所

二上山嶽

二上山大云峯 嶽山乃内多

二上山大坂山

右若山 皇居大津皇子 二上山 崇
崇祚 天皇小御宇 武垣安彦 乃高吾國後
ハ大坂山と強く稱せむんとせしり

上山神社

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

高嶽岩後

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

神といりて傳中と云ク大云峯嶽
依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

當麻寺 二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

二上山

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

依武記云今乃全割山乃社乃
高嶽岩後

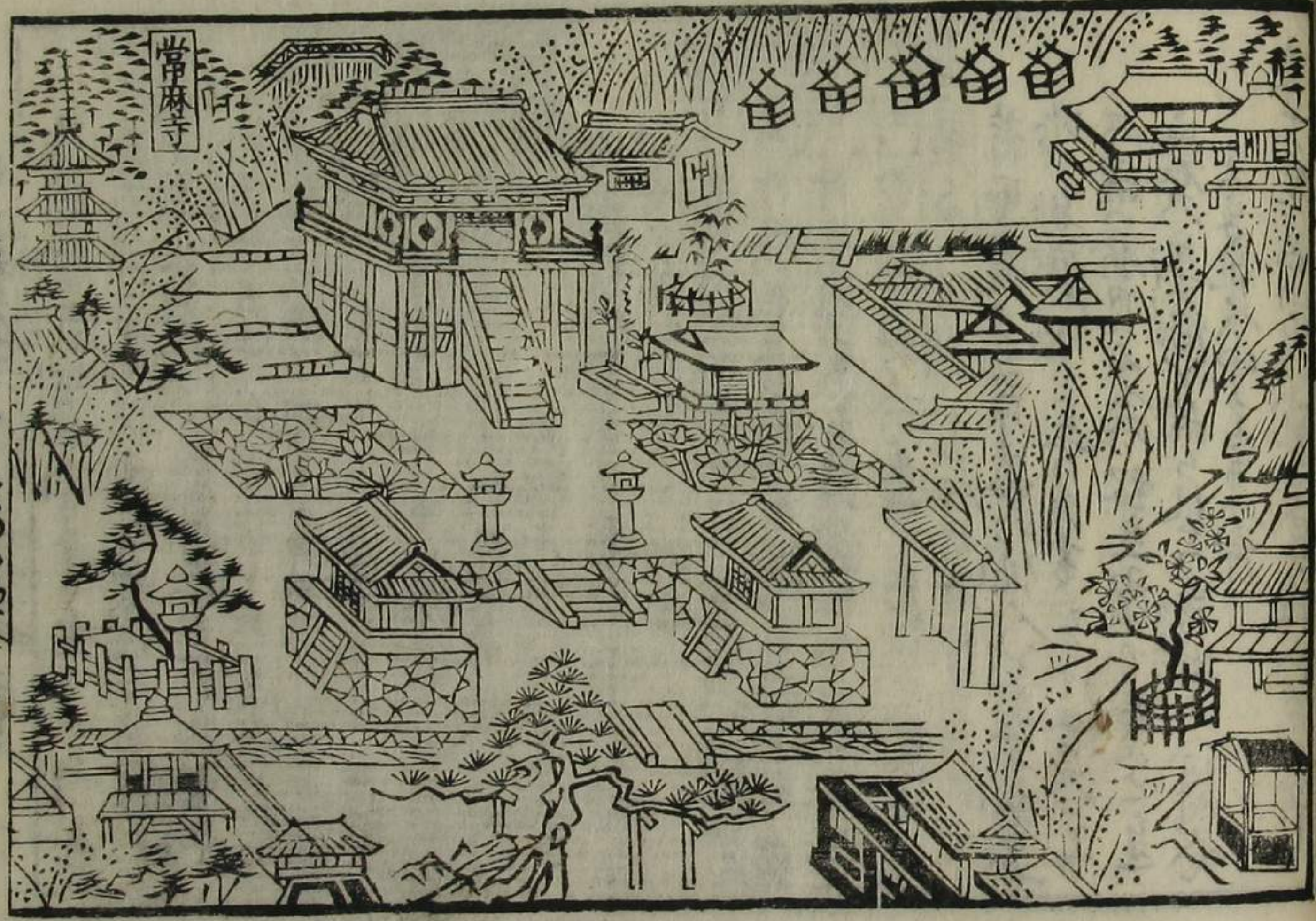
曼陀羅院

曼陀羅院堂 横森石大長考成之身女
 中宿法女の誓新唯新次持の云り
 西方教主乃持化非護乃妙巧と云
 尚て蓮新れ縁と晒清一後妙と云
 顔乃蓮故極樂莊嚴乃重おと織洞
 さをまのり流ふ二國希代乃悲愴と
 そゆ布とくえ亭亦書目云上人の
 抄ありられまんごの愛お乃中不工
 生と中不中生れらに織付乃縁記口
 百十二字ありと云今異く

▲ けいもんごう九百十四歳とてく此庚年中
 おやまれと福ひあまるとありと云り
 五難と修徳とくそまのり根蔭と
 ハ美画おまら乃場平は新幅乃まん
 と云と云り

▲ 新幅まんごうの真徳院保延二年又
 勅作乃旨るそと益出言交法不源
 交法服乃二所命と云りくと云と
 道より又更加れりて落みハ修徳交
 最承乃徳御と云と四抄

真徳院住まも 源院上人法持乃生徳
 上人自ら早八交用服後更乃青徳と



常林寺

此乃奥山あり故に現乃好一ませり山は石
も丸るりて子まれば聖武天皇乃御宇
良弁信ふい山乃全とゆふん今も山は
まふりてまうりて色林これとゆふり
とてい元皇一親書ふるこし

山 此の山は山と云ふは全山嶽小書信に
主前まうりてい山聖武天皇の
まふりてまうりて色林これとゆふり

耳 或は古書に山乃大倉と云ふ
万三書に耳我辰山乃大倉と云ふ

吉野川 川上ハ大倉原と云ふ
可也こり横山と云ふは吉野川水

大蔵原 吉野川のみまこり大蔵原
吉野川のみまこり大蔵原

夫川 山原某 西行
此乃吉の川の首と云ふは終る

地蔵堂 和田村乃東の川の川上と云ふ
出現乃地蔵と云ふは堂に居て

社 聖王社 投地蔵乃堂
高社ハ後醍醐天皇御宇七乃

中野 此の山は中野と云ふは
中野中野と云ふは中野

小野 此の山は小野と云ふは
小野小野と云ふは小野

秋津野 惟聖天皇は小野村
多の山原と云ふは秋津野

吉野 此の山は吉野と云ふは
吉野吉野と云ふは吉野

乃代小立乃 乃代小立乃武天皇
吉野の山は乃代小立乃

吉野 此の山は吉野と云ふは
吉野吉野と云ふは吉野

乃代小立乃 乃代小立乃武天皇
吉野の山は乃代小立乃

吉野 此の山は吉野と云ふは
吉野吉野と云ふは吉野

乃代小立乃 乃代小立乃武天皇
吉野の山は乃代小立乃

吉野 此の山は吉野と云ふは
吉野吉野と云ふは吉野

乃代小立乃 乃代小立乃武天皇
吉野の山は乃代小立乃

於幸なるひらきおのりし

遊門 秋津宮とありや

玉水遊ま古 是も秋津の文也と云く

遊浦 今の水もぬれおのり遊乃初り

三郎山 万葉集三奇五十四

西川 西川流分は子藤

吉魚張 我流張りともおまの友と云

日見野 海乃紀作國小味山背山と云

橋本言 橋本言のふれ山い

六田後 又石まると云

日見野 又石まると云

橋本言 又石まると云

六田後 又石まると云

日見野 又石まると云

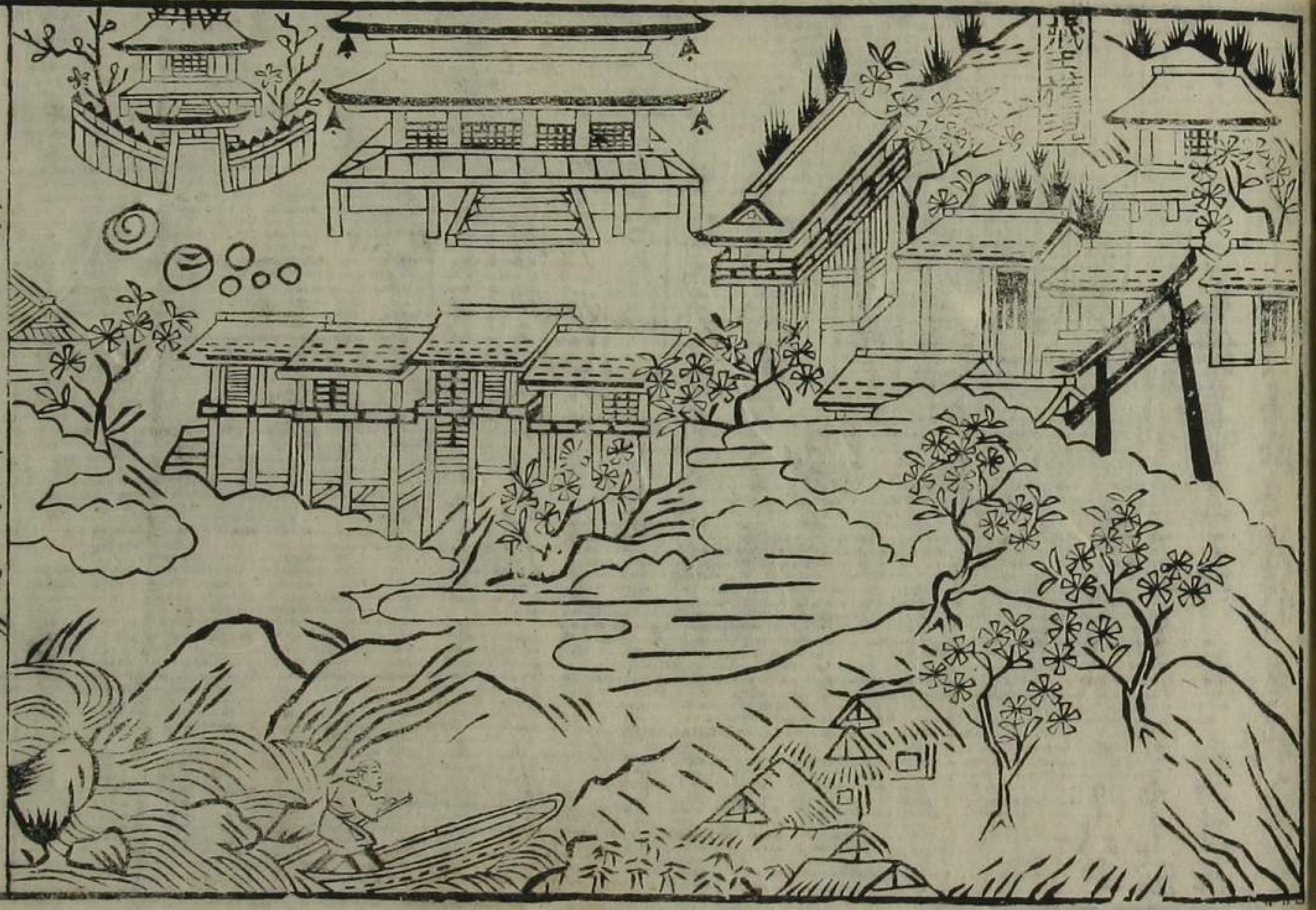
橋本言 又石まると云

六田後 又石まると云

日見野 又石まると云

橋本言 又石まると云

六田後 又石まると云



松山御茶屋 又長家乃茶師 堂名

松山御茶屋

文祿三年長公建の御茶屋

千本橋

月かり花七曲乃板と云れ

りり人機 越とりの極く佳境なる 莊章

松尾坂

山の井 あり

松王堂 金峯山

金峯井 二丈五尺 二王門

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

又子記 二丈四尺 延徳 二丈六尺 役の松

日本橋

延徳 天祥社 日蓮上人

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

又子記 二丈四尺 延徳 二丈六尺 役の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

松王堂 南向の松王堂 二丈六尺 脇の松

勝文社

祭神一座 愛媛令

天孫降臨乃附陪後三十二社の内也

神城山

石小直祭山方小神城山也

乃頂上之形良志と云天女あまふり

舞しりし名もささゆりは清見系天

皇りれ乙女が神と云ふるなり

如意海観音寺塔尾山

弁首のこめても号トス

差王控現るる雨つのは小若中より然

野主乃終果あり後院配天也

後院配天也

也意痛寺乃一乃の方

也意痛寺乃一乃の方

核名核山寺

日越上人修行之の由り

布引橋

布引橋と云く言はれ居小寺なり

兩派 愛遠観音堂

後天聖天皇御幸せむりて

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

舟生舟川

舟生舟川と程なり

吉野

是向乃わが町とありけし山乃巖ふ十市
何りの城跡をそそぎてと云ふ西の極尾の
倭迹を日百敷居今乃墓之

著墓
三輪神とて其の盤解く
密仁天皇文叙乃流り

珠城
城上船今向川乃水置乃田中と云く
信三田中と云ふ志原殿と云ふを志原の志
又ハ降木志原殿と云ふなり古事記

日向川
又日向と云ふ志原殿
又日向と云ふ志原殿

日向月代宮
日向月代宮
日向月代宮

三輪大日神
三輪大日神
三輪大日神

祭神一應
大己貴等又大物主神
祭神一應

別當
平等寺
別當

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

三輪山
三輪山
三輪山

ふくみ河せり 新く六筋くもあふり
宿の三橋乃山下板倉門 及び奇道
て三橋のふりさのり 女子色子あじわ
ひしきし及の在にありのく神あかきり
これふりけ神の宗との伴勢國巻巻
船乃人けへ平乃板倉のくさ記きり
大御橋也 三橋社乃也

関山慶法師にけり乃西宮の角
ふ上代ふ三橋の神里あふまふりあひ
ゆふ十家をりあふく定ふ入あひりか
乃あねあひ是乃伝わりを伝ふあて
りあひり

天照大神神法度法 けり三橋の神

乃慶より崇神天皇乃内宮より
四年大和乃三橋山御室乃上水
他りく二年初りあひりけり神
入後命より日足あふりあひり

海板板市 勅諭分五十町あひりや村
四丁あふり年 勅諭あふり又法に
と云ふあふり是同是或況を法に
乃子枕あふり源氏あふりあひり

三橋山乃南尾尾橋を名川の流
夫三橋のあふり地まの村をまの
さくは 勅諭あふりあひりあひり
約あふり神あふりあひりあひり
後天里乃あひりあひり
崇神天皇乃あひりあひり
三橋のあふりあひりあひり
三橋のあふりあひりあひり
三橋のあふりあひりあひり
三橋のあふりあひりあひり

三橋山 三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

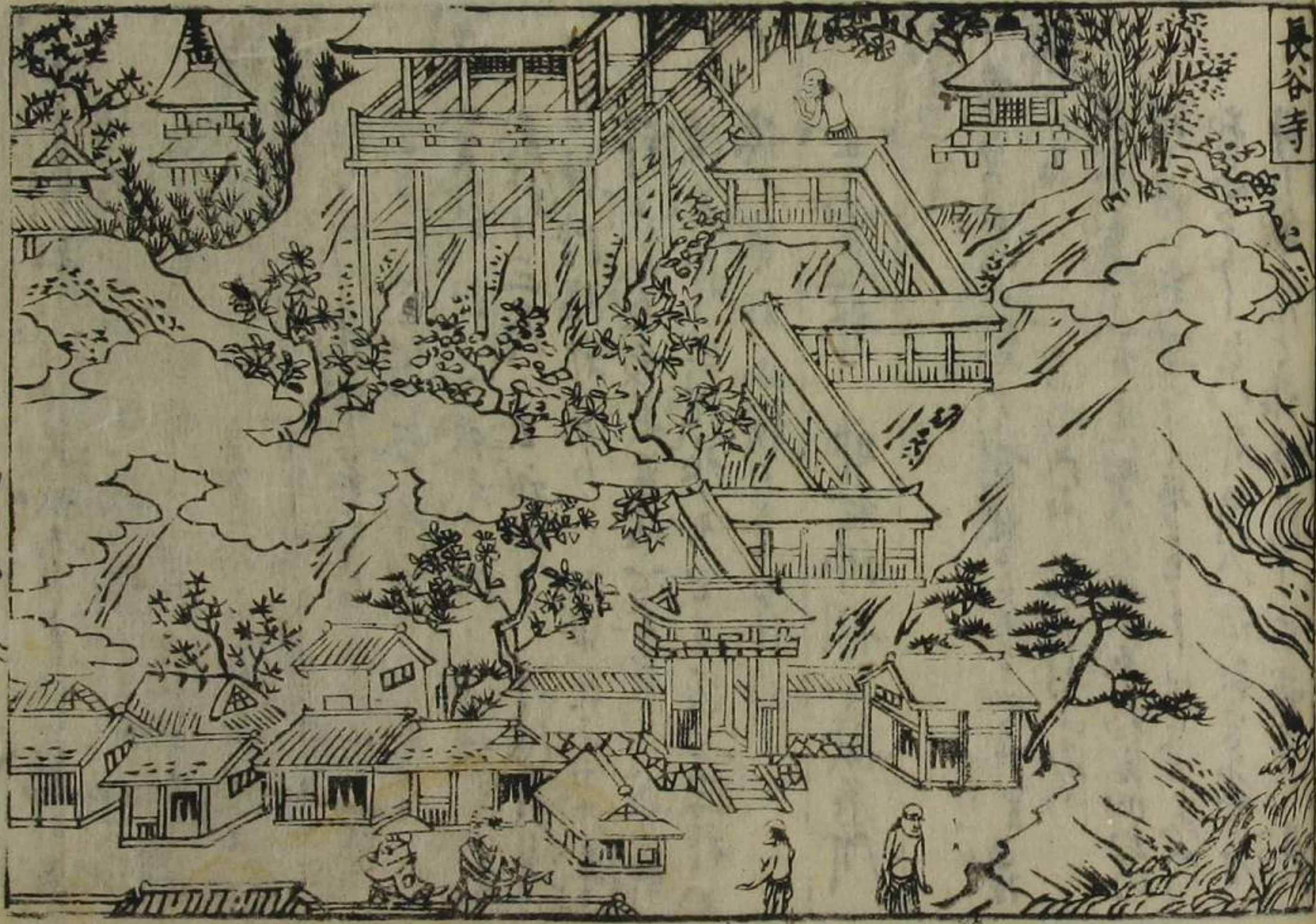
三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり

三橋のあふりあひりあひり



長谷寺



三輪明神

横井神社

今更に改めしを以て三神の社
ニ下りし大己貴命荒巻神と社名の
神といふは奈久平九年の事なり

笠山

笠山 笠山といふは笠山といふは
笠山 笠山といふは笠山といふは
笠山 笠山といふは笠山といふは

笠山荒井神社

笠山荒井神社 笠山荒井神社
笠山荒井神社 笠山荒井神社
笠山荒井神社 笠山荒井神社

山邊郡

山邊郡 山邊郡 山邊郡
山邊郡 山邊郡 山邊郡
山邊郡 山邊郡 山邊郡

山邊郡

山邊郡 山邊郡 山邊郡
山邊郡 山邊郡 山邊郡
山邊郡 山邊郡 山邊郡

石上

石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上

石上

石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上

石上

石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上

石上

石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上

石上

石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上

石上

石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上

石上

石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上

石上

石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上
石上 石上 石上 石上

乃家也 孝德天皇御田村乃亭小田
孝德天皇御田村乃亭小田
作新村垣城
石上乃十五丁神 下畧

山名 山名
二階堂
今二階堂村あり二計の
伴野丈和の内ふ史より

堂名 藤原氏と号す
がけのし聖徳太子の母
建基しきく山廻り行つた
一と名信小の山廻り行つた

倉田墓
白香里女 仁實天皇の皇女
昭天皇の母后の心く大乃乃山

倉田墓
昭天皇の母后の心く大乃乃山
信小山廻り行つた
一と名信小の山廻り行つた

千福
二階堂の正木大乃乃山
山廻り行つた

大乃乃山廻り行つた
大乃乃山廻り行つた
大乃乃山廻り行つた

三宮 天皇六年 四乃 夜疾流
三宮 天皇六年 四乃 夜疾流

長尾市 倭國 卷神乃 神
長尾市 倭國 卷神乃 神

多田本達寺
多田本達寺

多田本達寺
多田本達寺

ろくしつりぐえん... 多田春連... 二里半...
ろくしつりぐえん... 多田春連... 二里半...
ろくしつりぐえん... 多田春連... 二里半...

高市郡

高市郡 柞社弘園山... 公郡の大和國乃府中地

細川

細川... 細川山... 細川山乃山の上の山

瀬川

瀬川... 瀬川山... 瀬川山乃山の上の山

天守

天守... 天守山... 天守山乃山の上の山

東西市

東西市... 東西市乃山の上の山

柞田

柞田... 柞田山... 柞田山乃山の上の山

乃梁

乃梁... 乃梁山... 乃梁山乃山の上の山

遊して徳法... 天智十三年小磯我馬子元興寺
 と建早ぬき金堂乃か号大六乃
 釈迦乃像と九輪殿の多次奈家
 乃子轉地乃新く云小宮物ありく
 仏巧よりつらくゆ多の之松徳物
 一雲中一永安居せり久敷意清り
 す大仁乃法と改めたるに正に坂
 田新小能く、方面廿町と路りり
 乃多の田原のく、天智の亦る小宮
 ちと指交せり南河坂田るこれあり
 史六乃賜符乃り、前ハ多次奈法
 陸海乃生一云たりり、日本紀

小松田宮 又小松田宮 皇極天皇此の地
 小治田れま乃ち乃り、皇極天皇此の地

向日王宮 皇極天皇此の地 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

板田橋 細川乃流 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

東光山純養寺真珠院 又皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

舒明天皇乃聖辰皇乃地、皇極天皇此の地
 天智天皇乃地、皇極天皇此の地

折田 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

龍宮 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

後苑 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

後苑 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

橋寺 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

橋寺 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

橋寺 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

橋寺 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

橋寺 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

田中宮 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

田中宮 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

田中宮 皇極天皇此の地
 皇極天皇此の地

〔麻坂〕 今と云ふ麻坂天皇十三年麻坂の上

麻坂宮 佛心寺存るは過果あり

〔麻坂池〕 蘇我天智十一年代池を治す

〔麻坂宮〕 傳言 〔夕池〕 〔真初池〕

川原寺 傳言乃二所水青乃破石を

海石御市 城上殿小之御所

常林寺 聖徳太子御孫の川原寺の神三般村

山面寺 又花藏寺と云楊の系を云世山田村

原原宮 秋日本記云地を云云云云

大原 原原 今同云云云云

〔大原〕 今同云云云云

〔大原〕 今同云云云云

〔大原〕 今同云云云云

〔大原〕 今同云云云云

〔大原〕 今同云云云云

子女子と皇子といせしむ城門乃結橋
古今不出也其を殊運乃の流流竟
亦天かふさ今さふりて殊符乃
夷と最まり入麻が播へる洲の流
味檀立り海西の太平記所謂越智某の住取

越智

味檀立り海西の太平記所謂越智某の住取

小市丘上陵

付向人皇女陵 太田皇女墓

越大野

万葉新立 志弓野 越村有直弓村

檀皇墓

志保野 吉佐保皇祖母命ヲ葬ル

作太皇

万葉新立 志弓村の神小佐左村云

冬野古

又母命有武武峰有冬野村之系別表

深谷皇陵

冬野村の志之依ふまの古陵云

菅馬相山庄

新の天皇御幼少に在尋及三押坂山山陵遷

小野榛原

畝傍村より押一里許

鳥見白山

又鳥見白山山麓云

鳥見山

新武天皇金雲の天路の

白原寺

元和元年或和尙乃著述

白原寺

白原寺乃流の曲川乃名をよむと云

白原寺

志のれいより白原寺の曲川乃名をよむと云

白原寺

志のれいより白原寺の曲川乃名をよむと云

白原寺

志のれいより白原寺の曲川乃名をよむと云

白原寺

志のれいより白原寺の曲川乃名をよむと云

白原寺

志のれいより白原寺の曲川乃名をよむと云

白原寺

志のれいより白原寺の曲川乃名をよむと云

白原寺

志のれいより白原寺の曲川乃名をよむと云

白原寺

志のれいより白原寺の曲川乃名をよむと云

白原寺

志のれいより白原寺の曲川乃名をよむと云

白原寺

志のれいより白原寺の曲川乃名をよむと云

獲我子家地

飛鳥川乃傍と云今不知
先恭天皇即位の事

志乃母香宮

志乃母香宮 志乃母香宮

難波垣

難波垣 難波垣

多岐川

多岐川乃西の入口に是あり

高世

高世はと云はれしなりと云る大長古

と燧

と燧は燧と云ふなりと云はれしなり

法隆寺

法隆寺乃西院の事と云ふ若光寺

縁起

縁起の事は非波乃備ありてはと

堀

堀は決まると云ふなりと云ふ

江

江は江と云ふなりと云ふ

か

かりしは海小なりと云ふなりと云ふ

浦

浦といひ又難波に浦といふなり

紐池

紐池 今云と云 難波紐池と云 難波天皇

十七年

十七年 紐池と云はれしなりと云ふ

難波

難波 難波と云ふなりと云ふ

孝元天皇陵

孝元天皇陵 孝元天皇陵

板蓋井

板蓋井 板蓋井と云ふなりと云ふ

若乃

若乃 若乃と云ふなりと云ふ

板蓋井

板蓋井 板蓋井と云ふなりと云ふ

豊浦社

豊浦社 豊浦社と云ふなりと云ふ

雷村

雷村 雷村と云ふなりと云ふ

八約宮

八約宮 八約宮と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

八約山

八約山 八約山と云ふなりと云ふ

大宮大寺

大宮大寺 大宮大寺と云ふなりと云ふ

神八井耳余陵

日崇 綏徳天皇の御足余

安寧天皇陵

日神 井上陵と云

三山 天皇山

天秀山 畝傍山 耳山

檀原宮

畝傍山乃 磯中 島上 郡

園源寺

今法王寺 宇田代 齋院 内 宇 建

盤池天皇陵

久米古の 盤池 上 陵

久米邑

神武天皇二年 道長 令 切

久米川

日中 紀 二 日 一 云 主 神 推 畧 天 皇 七 久 米

笠田池

久米古の 笠田池 乃 池 乃 池

久米寺

久米の 仙人 乃 建 立 寺 乃 寺

武内宿禰墓

性 美 葉 抄 益 田 池 坤

宿禰の垂仁帝

生 仁 延 天 皇 七 十 八 年

久米各所

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

久米古の

久米古の 久米古の 久米古の

免親小源融公小守及母之孫て極備御
皇極天皇乃御之押切直と

云々皇子といふはひく書中に云々皇山小
王け入皇其とあはくはく長来といふは

氷室乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

皇山乃汝とくひひ信人なりと云々
皇山乃汝とくひひ信人なりと云々

往世小本神宮在持摩乃也
御朝倉宮 惟親天皇御世廿二年

豐受本亦云丹波必吉作云ありう
つり多しと倭國の宮小市一宿ま
しくそ伴笑ふ云云云云云云云云
くそれり云云云云云云云云云云
九月小伴勢國山田本乃新成小伴乃孫
神戶 天照皇本亦云云云云云云云

宮小四年神のまり 神依乃云云
ゆーい云云世紀云云云云云云
わりのま云云云云云云云云云云
字及納原云云 神依天皇云云云云
平けり云云云云云云云云云云

竹川 係一云云云云云云云云云云
宮生山禮生也 古伝廿八石
山号或ハウ一山又西一山云云
双乃云云乃勝地云云云云云云
玉お菜乃夷雲云云云云云云云
山神不安云云 蘇小云云云云云云
隆と云云号す乃世紀云云云云云云
と云云云云云云云云云云云云

と稱云云云云 ちんハ興福寺云云
乃内と云云云云 後職ハ西云云
掘ち成壇院乃神系乃中云云云云
興福寺乃傍侶二人一妻乃結善と勤之
龍穴社 蘇小云云云云云云云云
善女勢王ありと云云乃云云云云
も云云乃乃神乃中乃と云云云云
所患の乃小勢云云云云云云云云
は山ハ紀保本云云云云云云云云

鶴山 云云云云云云云云云云
云云云云云云云云云云云云云云
大長寺 云云云云云云云云云云
雲雲山醫王院大長寺云云云云
宮太子乃云云業云云云云云云
後小使乃云云勤乃地云云云云
後乃具地云云 善吉乃具云云云云
惠果和南乃弘法大師云云云云
ひ奇瑞具妙乃云云源乃云云云云

大長寺 云云云云云云云云云云
雲雲山醫王院大長寺云云云云
宮太子乃云云業云云云云云云
後小使乃云云勤乃地云云云云
後乃具地云云 善吉乃具云云云云
惠果和南乃弘法大師云云云云
ひ奇瑞具妙乃云云源乃云云云云

大長寺 云云云云云云云云云云
雲雲山醫王院大長寺云云云云
宮太子乃云云業云云云云云云
後小使乃云云勤乃地云云云云
後乃具地云云 善吉乃具云云云云
惠果和南乃弘法大師云云云云
ひ奇瑞具妙乃云云源乃云云云云

六十一

倉橋離宮

天武二年(645)に造られたり

倉橋齋堂

天武天皇七年(678)に造られたり

下宿里

天武天皇の御下宿の里

倉橋山

天武天皇の御下宿の山

倉橋山

天武天皇の御下宿の山

東の十市郡二級小高き山なり

年七月八日に山乃麓あり

二丈深き一丈二尺之中

尺七寸林中小高き山

多武峯

山峯と新書小高き山

別山南の金峯山小

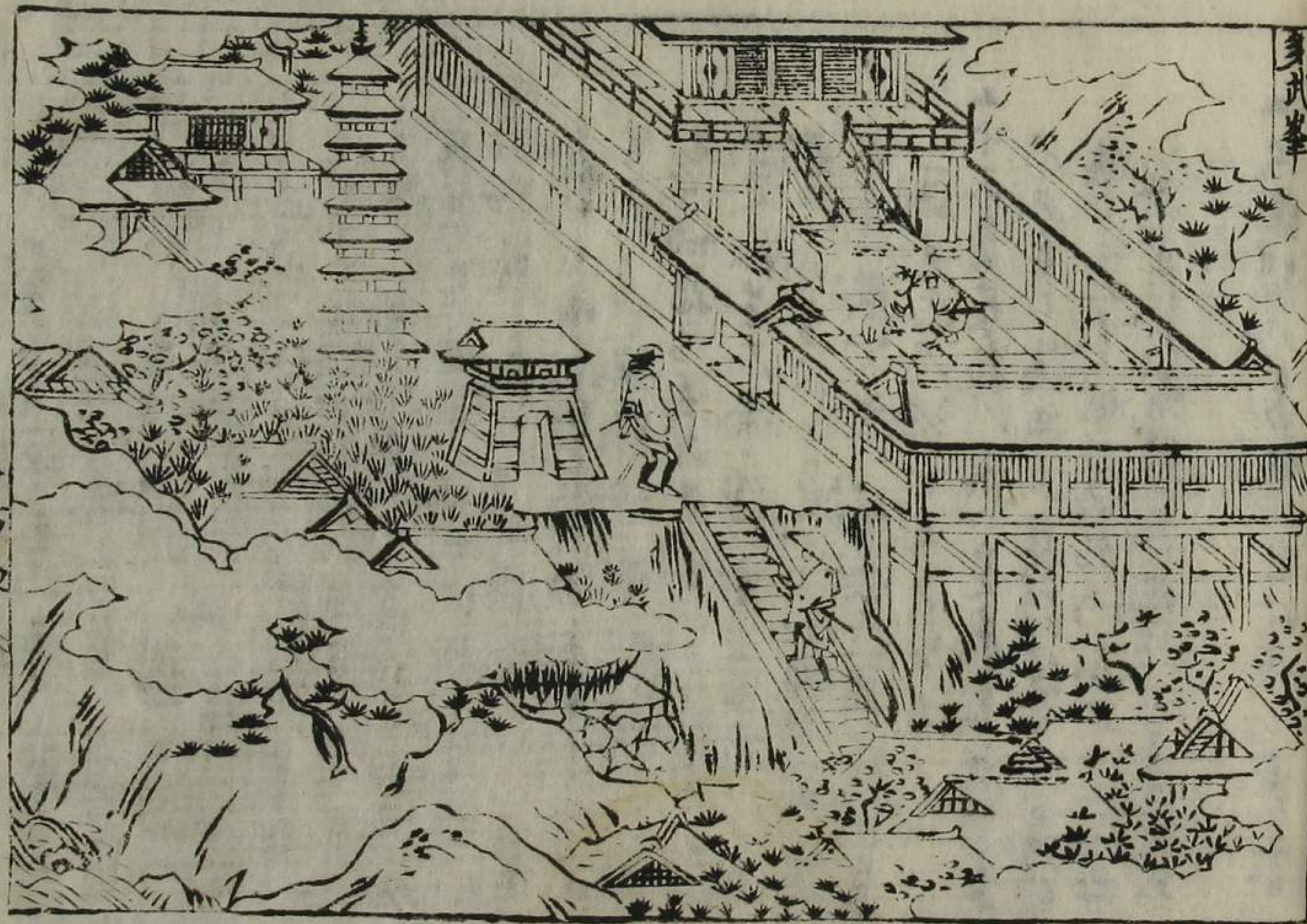
失ハ多武峯あり

東の倉橋十市郡の細川

小山四十九但小山乃

談山妙樂寺

古名二十石二峰



多武峯

一 普門堂 云 融 院 勸 業 舍 堂 應 王 美 昇 建

其 外 依 依 藍 山 乃 聖 化 之 處 也 云 云
お 象 洞 田 代 多 氏 家 傳 之 天 名 也 云 云

花 衣 乃 山 小 丈 丈 之 山 名 乃 福 井 月 之 名 也 云 云
此 山 乃 務 川 乃 親 善 者 山 乃 信 傳 善 宗 云 云
法 師 必 善 者 也 云 云 友 素 宗 乃 所 傳 也 云 云
云 云 云 云 人 乃 あり 云 云

お 柳 宮 又 天 宮 也 云 云 世 八 代 重 作 柳 宮 天 皇
又 倉 指 山 乃 武 家 乃 名 乃 あり 云 云 頃 々
乃 柳 宮 上 乃 友 柳 乃 味 乃 あり 云 云 柳 宮
乃 友 柳 乃 味 乃 あり 云 云 天 宮 乃 名 乃 あり 云 云

渡 海 公 墓 山 墓 地 武 家 乃 名 乃 あり 云 云 三 八
乃 武 家 乃 名 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

雲 井 乃 武 家 乃 名 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云
乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云 乃 あり 云 云

十市里

この内乾ん 竹左の終に十市郡
を山さのびんぼりのよと出せり

多社

八本村五里か五里の五六丁良あり
跡志理神社古社三座 迹志武

常盤里

耳山山の東常盤村多日名山塔宮
まかたの徳とやまの松の屋戸とさし置るあれま

穂積

信濃津と去十市郡神乃石の志
水登のつとに母村をたまの村て秋を多めさ

竹田村

竹田村の西へ 万系集
大伴坂上而女竹田庄と他り奇二首
とむらひ意公田を新より思古に現れぬしむらひ
原異所ぬ乃山いさうとむらひの及いふにむらひ

大和郡

▲和列郡内古伝古跡未考し分る

大和郡	万系八雲りやま	大和郡	上田り
大和野	万系りやま	大和郡	志節百首
口立山	比月奇松	吉志忍我富殿	万系
樟葉宮	一依河内万	大野	万系
俣森松	公妻ま本	上安池	万系
折廻里	妻西村	阿保山	万系八雲
安志原里	月夜山	標野	万系
龍胆山	万系	多系久良能里	万系

あづ乃池	りか	中山	りか
多栖山	りか	鏡石池	りか
玉井沼	りか	赤膚山	りか
跡尾乃岳	万系りか	弓削川系	万系
尾列系	教字	大和橋	万系
始尾橋	八雲万系	政市	万系八雲
新池	りかま本	本願宮	万系
常備	新池りか	多徳池	万系
今治乃山	新池りか	備後池	万系
初乃乃	新池りか	中丸の舟山	りか
孫豆山	又新中	下松山	りか
高瀬川	又新中	三ませ川	りか
小糸の池	又新中	うら目の池	りか
ふきの池	又新中	甘樫宮	りか
ふきの池	又新中		
司徳文	又新中		

大和郡法方道分

系方系良出若并三初取吉野

系、 系三三三 伏尾、 系三三三

▲小く▲根系▲天計の森の系

長流 五多、一里半 木付、二里

本津方 舟入、一里半 ▲木付の舟入の口本津付

川五から流るゝ舟出れい舟河 破川、

▲船形とく及乃舟小三村と云んが

成乃舟り舟多山古成結をけ山乃藤

之尾舟舟と云 ▲かせ山舟舟く舟舟の

山つと云 ▲市坂気山成夫舟乃舟の

舟乃舟舟舟 ▲舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

舟乃舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟舟

